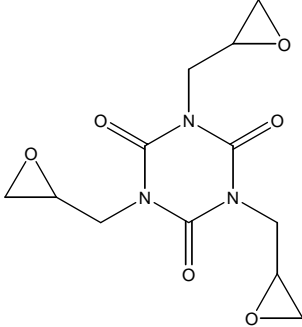


## 化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2000 - 57	官報公示 整理番号	5 - 1052(化審法) 1 - 218(化学物質管理促進法)	CAS 番号	2451 - 62 - 9
名 称	1, 3, 5-トリス(2, 3-エポキシプロピル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6(1H, 3H, 5H)-トリオン 別名：1, 3, 5-トリスグリシジルイソシアヌレート TEPIC		構 造 式		
分子式	C <sub>12</sub> H <sub>15</sub> N <sub>3</sub> O <sub>6</sub>		分子 量	297.27	
市場で流通している商品(代表例) <sup>1)</sup> 純 度 : 99%以上 不純物 : 不明 添加剤または安定剤 : 無添加					
物理・化学的性状データ 外 観 : 白色固体 融 点 : 100 <sup>2)</sup> 沸 点 : 文献なし 引 火 点 : 文献なし 発 火 点 : 文献なし 爆発限界 : 文献なし 比 重 : 文献なし 蒸気密度 : 該当せず 蒸 気 圧 : 該当せず 分配係数 : 文献なし 加水分解性 : 文献なし 解離定数 : 文献なし スペクトル : 主要マススペクトルフラグメント m/z 56(基準ピーク)、70(0.73)、255(0.73) <sup>3)</sup> 吸脱着性 : 文献なし 粒度分布 : 該当せず 溶解性 : 文献なし 換算係数 : 1 ppm = 12.37 mg/m <sup>3</sup> (気体, 20 ) 1 mg/m <sup>3</sup> = 0.081 ppm					

## 総合評価

### 1) 危険有害性の要約

本物質は刺激性がみられ、ヒトで静脈内投与した臨床試験で、静脈炎と白血球減少症、血小板減少症がみられた他、嘔吐がみられている。また、職業暴露による接触性皮膚炎や喘息が報告されている。実験動物でも白血球、網状赤血球、好中球、リンパ球、血小板の減少が多く報告されている他、胃腸管への障害がみられている。また、強い刺激性、感作性も認められている。変異原性・遺伝毒性では、陽性と判断されており、DNA との共有結合も認められている。発がん性については、ヒト及び実験動物での信頼性のある報告はない。生殖・発生毒性については、受精能の低下が報告されているが、それ以外の報告はない。

本物質は、大気中ではOHラジカルの反応が関与しており、半減期は1日以内と計算される。環境省のモニタリングデータはない。水圏環境生物に対する急性毒性についてはデータがない。

### 2) 指摘事項

- (1) 本物質は強い刺激性があり、また、職業暴露により接触性皮膚炎と喘息を発症している。
- (2) 細胞毒性があり、ヒト及び実験動物で造血系への影響が認められている。
- (3) 変異原性・遺伝毒性は陽性である。
- (4) 化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、排出量の管理が必要である。

(1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン)3

#### 参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(2001).
- 2) (財)化学物質評価研究機構調査資料(2001).
- 3) NIST Library of 54K Compounds.